



「自分の目の黒いうちに、戦闘機が頭上を飛び、軍艦が高松港に入る・・・そんなものを見ることになるなんて」 (学習会参加の高齢者)

県議会前でマスコミにアピールする大西会長



池田知事あてに要請書を手渡す 大西会長

「民主県政をきづく会」は、速やかな情報開示と共に軍事拠点としての港湾整備を災害時の搬入拠点としての整備にすり替え説明する県の姿勢を厳しく正しました。



高松港の軍港化反対学習会

2月2日、香川革新懇と9条の会かがわ主催の「高松港を軍事利用させないための学習会」が開かれ、オンラインも含め60名近くが参加。香川民医連からも県連4役を中心に6名が参加しました。すでに国会ではなく閣議決定で決めた「安保3文書」に沿って戦争する国づくりのための「空港・港湾などの公共インフラの整備・機能強化」が進められている一環であり、「あの時なら、まだ止めれたと後で後悔する局面に近づいています。」